

新城市民病院での研修を終えて

名古屋第二赤十字病院 研修医2年次

今回、地域医療研修として、2週間、新城市民病院で臨床研修をさせていただきました。

新城市民病院での研修内容は、朝の勉強会、初診外来、救急外来、病棟管理、毎日の症例検討会、内科カンファレンス、訪問リハビリ、作手診療所での外来、地域医療連携におけるソーシャルワーカーの方の説明、up to date勉強会でした。

初診外来、救急外来では必要とされる問診、身体所見を漏らすことなくしっかりとれるように指導していただきました。また、その後フィードバックを指導医の先生方からしっかりとしていただき、一例一例から多くのことを学ばせていただきました。一日の終わりには、その日の初診と救急外来の症例を振り返り、情報を共有するカンファレンスの場があり、そこで自身が経験した症例だけでなく、すべての症例について学ぶことができました。経験豊富な先生方の所見や検査データへのアセスメントは自分には思いもよらない様な知識、視点があり、非常に刺激的な体験となりました。身体診察を重視する視点とEBMに則った治療方針は今後自分が医師として診療してゆく中で絶対に忘れてはいけないものを先生方から学ばせていただけたと思っております。

また、院内の研修だけでなく、訪問リハビリ、往診に同行することで、知識としては知っていましたが、現場で実際にどのようなことが行われているかを実際に見ることができ勉強になりました。また、その道中からも地域の特性や問題点などを知ることができ色々と考えさせられました。作手診療所での研修も、実際に外来を担当させていただいて、この地域における診療所の必要性を実感しました。また、道路の真ん中を猿が歩いていて、とても癒されました。

今回の研修を通じて、今後ますますプライマリケアのできる医師が求められ、また患者さんもそれを求めるだろうと感じました。自分も医師として患者の期待や要望に応えられるように、今回新城市民病院で学ばせて頂いたことを活かしていきたいと思えます。

最後になりましたが、手厚くご指導いただきました新城市民病院の先生方、看護師の方々、リハビリスタッフの方々、ソーシャルワーカーの方々、事務の方々、そして作手診療所の方々、その他スタッフの皆様方に厚くお礼申し上げます。

2週間どうもありがとうございました。